



2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年8月5日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 矢野 崇

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 2021年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	132,457	9.9	13,248	△22.9	13,248	△24.1	14,003	△22.1	7,894	△34.7
2021年3月期第1四半期	120,561	13.9	17,179	113.1	17,452	102.3	17,979	93.5	12,095	108.5

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2022年3月期第1四半期	76.02		75.58	
2021年3月期第1四半期	116.11		115.47	

※既存事業コア営業利益について

当社は2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除した指標です。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2022年3月期第1四半期	647,894		415,817		381,926	58.9
2021年3月期	663,530		421,435		384,016	57.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	55.00	—	65.00	120.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	70.00	—	60.00	130.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当金には、普通配当55円00銭のほかに「時価総額1兆円記念配当」10円00銭が含まれております。

2022年3月期(予想)の第2四半期末配当金には、普通配当60円00銭のほかに「カップヌードル発売50周年記念配当」10円00銭が含まれております。

3. 2022年 3月期の連結業績予想(2021年 4月 1日～2022年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	540,000	6.7	47,000	—	42,500 ～44,500	△23.5 ～△19.9	31,000 ～33,000	△24.1 ～△19.2	298 ～317

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5～10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	105,700,000 株	2021年3月期	105,700,000 株
2022年3月期1Q	2,178,560 株	2021年3月期	1,528,236 株
2022年3月期1Q	103,848,240 株	2021年3月期1Q	104,170,747 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(報告企業)	11
(作成の基礎)	11
(重要な会計方針)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比9.9%増の1,324億57百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益(注1)は前年同期比22.9%減の132億48百万円、営業利益は前年同期比24.1%減の132億48百万円、税引前四半期利益は前年同期比22.1%減の140億3百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比34.7%減の78億94百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比8.2%増の1,304億4百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比23.7%減の131億7百万円となりました。(注2)

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

(注1) 既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益および非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

(注2) 2022年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	2021年3月期	2022年3月期	対前年同期比	
	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2021年4月1日 至 2021年6月30日	金額	%
売上収益	120,561	132,457	11,896	9.9
既存事業コア営業利益	17,179	13,248	△3,931	△22.9
営業利益	17,452	13,248	△4,203	△24.1
税引前四半期利益	17,979	14,003	△3,976	△22.1
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	12,095	7,894	△4,201	△34.7

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、「菓子・飲料」事業に含まれていた「飲料事業」について従来の「低温事業」と合わせて「低温・飲料事業」とし、「菓子事業」については独立した報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

以下の前年同期比較は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、袋めん類は「日清ラ王」シリーズが売上を伸ばしたほか、2021年3月末に発売したエッジの効いた衝撃的な辛さと旨味が特徴の「爆裂辛麺」シリーズを含むPRIME(プライム)袋めんシリーズが売上に貢献しました。カップめん類では、2021年4月に発売したおいしさそのまま高たんぱく&低糖質の「カップヌードルPRO」シリーズの売上が好調なほか、近年需要が高まっているもやしを使用し、手軽で食べ応えのあるアレンジレシピ「チョモランマU.F.O.」を訴求した「日清焼そばU.F.O.」シリーズが売上を大きく伸ばしましたが、前年同期比では前年4月の緊急事態宣言後に起きた需要の増加があったため、袋めん、カップめんともに減収となりました。カップライス類は、コメ食の個食化の拡大から「日清カレーメシ」や「ぶっこみ飯」シリーズが引き続き好調で、大きく売上に貢献し増収となりました。利益面は袋めん、カップめんの売上減の影響を受けて前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上収益は、前年同期比3.1%減の465億77百万円、コア営業利益(注1)は、前年同期比19.7%減の69億82百万円、営業利益は、前年同期比19.7%減の70億12百万円となりました。

②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、袋めん類は「宮崎辛麺」が躍進した「明星 チャルメラ」が大きく伸長したほか、新ブランド「明星 麺神」も貢献し、前年同期比で増収となりました。カップめん類においても新ブランド「明星 麺神」が貢献したほか、「酸辣湯麺」の好調で「明星 中華三昧」が大きく伸び、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」も堅調でしたが、前年を僅かに下回りました。利益面では、期初より広告宣伝を行ったほか、減価償却費の増加等もあり、前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上収益は、前年同期比2.6%減の94億11百万円、コア営業利益（注1）は、前年同期比37.1%減の9億96百万円、営業利益は、前年同期比37.8%減の10億1百万円となりました。

③低温・飲料事業

日清食品チルド(株)の販売状況は、2020年4月の緊急事態宣言後に起きた需要の増加の反動で「つけ麺の達人」、「日清のラーメン屋さん」シリーズ等が販売減となりましたが、「まぜ麺の達人」シリーズ、冷しめん類の売上が伸長し、前年同期比で増収増益となりました。

日清食品冷凍(株)の販売状況は、主力商品である「冷凍 日清中華 汁なし担々麺 大盛り」をはじめとして、「冷凍 日清まぜ麺亭」、「冷凍 日清もちっと生パスタ」の各シリーズが順調に売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。しかしながら広告宣伝費の投入により、前年同期比で減益となりました。

飲料事業は、日清ヨーク(株)の主力ブランド「ピルクル」が乳酸菌数を150億個から400億個に増やし、宣伝も投入し「ピルクル400」として発売し好調に推移したものの、2020年4月の緊急事態宣言後に起きた需要の増加の反動により前年同期比で減収となりました。また利益面では広告宣伝費の増加等により前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける低温・飲料事業の売上収益は、前年同期比0.8%増の202億16百万円、コア営業利益（注1）は、前年同期比23.1%減の12億30百万円、営業利益は、前年同期比30.9%減の13億23百万円となりました。

④菓子事業

菓子事業は、日清シスコ(株)の「ごろっとグラノーラ」が好調トレンドを維持して売上に貢献したものの、2020年4月の緊急事態宣言後に起きた需要の増加の反動がありました。しかしながら、2020年12月より連結子会社化した(株)湖池屋の経営成績（3カ月分）が反映されたこともあり、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける菓子事業の売上収益は、前年同期比123.3%増の170億63百万円、コア営業利益（注1）は、前年同期比4.7%増の10億15百万円、営業利益は、前年同期比9.3%増の10億69百万円となりました。

⑤米州地域

米州地域においては、既存商品の収益力の向上に加え、新たな需要の創造に向けた付加価値商品の提案強化に取り組んでおります。

売上につきましては、ブラジルでは主力商品の「Nissin Lamen」が引き続き好調に推移したことに加え「CUP NOODLES」の売上も伸長しました。新型コロナウイルス感染症の影響による需要の増加も売上に貢献しました。米国においては2020年3月の国家非常事態宣言後に起きた需要の増加の反動があったものの、高価格帯商品が好調に推移し、セグメント全体で増収となりました。利益につきましては、売上増、高価格帯商品の販売増等の増収効果もありましたが、主要原材料費や物流費の増加等により減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上収益は、前年同期比14.0%増の202億21百万円、コア営業利益（注1）は、前年同期比38.4%減の11億74百万円、営業利益は、前年同期比37.7%減の11億89百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比9.8%増の194億89百万円となり、コア営業利益は、前年同期比41.1%減の11億23百万円となりました。（注2）

⑥中国地域

中国地域においては、中国大陸での高付加価値商品市場が拡大しており、販売エリア拡大と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。売上については、前年同期の新型コロナウイルス感染症による需要の増加の反動があったものの、カップヌードルブランド群の販売ボリューム増や対円に対する現地通貨高による為替換算影響によって、前年同期比で増収となりました。利益面では、原材料費の高騰に伴う大幅なコスト増により前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上収益は、前年同期比6.4%増の122億47百万円、コア営業利益（注1）は、前年同期比27.9%減の11億7百万円、営業利益は、前年同期比33.2%減の10億73百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比1.3%減の113億66百万円となり、コア営業利益は、前年同期比33.6%減の10億20百万円となりました。（注2）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比14.2%増の67億20百万円、コア営業利益（注1）は、前年同期比1.3%減の21億6百万円、営業利益は、前年同期比1.9%増の21億6百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比6.7%増の62億79百万円となり、コア営業利益は、前年同期比1.4%減の21億4百万円となりました。（注2）

（注1）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注2）2022年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ156億36百万円減少し、6,478億94百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の減少につきましては、主にその他の流動資産が90億97百万円増加した一方、非流動資産のその他の金融資産が155億17百万円、営業債権及びその他の債権が85億51百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ100億18百万円減少し、2,320億77百万円となりました。これは主に営業債務及びその他の債務が63億97百万円、繰延税金負債が18億35百万円減少したことによるものであります。

資本は、前連結会計年度末に比べ56億18百万円減少し、4,158億17百万円となりました。これは主に利益剰余金が40億71百万円増加した一方、自己株式が51億75百万円増加し、非支配持分が35億28百万円減少したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の57.9%から58.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	90,294	82,492
営業債権及びその他の債権	84,837	76,286
棚卸資産	40,901	44,193
未収法人所得税	1,629	1,908
その他の金融資産	6,890	7,962
その他の流動資産	4,563	13,660
流動資産合計	229,117	226,504
非流動資産		
有形固定資産	257,135	258,662
のれん及び無形資産	12,476	12,545
投資不動産	7,369	7,362
持分法で会計処理されている投資	42,333	42,946
その他の金融資産	100,990	85,473
繰延税金資産	12,174	12,528
その他の非流動資産	1,933	1,870
非流動資産合計	434,413	421,390
資産合計	663,530	647,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	119,275	112,877
借入金	9,647	9,669
引当金	204	100
未払法人所得税	8,050	7,729
その他の金融負債	3,855	3,889
その他の流動負債	19,617	17,896
流動負債合計	160,650	152,163
非流動負債		
借入金	38,283	38,415
その他の金融負債	18,601	18,750
退職給付に係る負債	5,151	5,171
引当金	203	217
繰延税金負債	16,722	14,887
その他の非流動負債	2,481	2,472
非流動負債合計	81,444	79,914
負債合計	242,095	232,077
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	50,636	50,389
自己株式	△6,658	△11,833
その他の資本の構成要素	34,217	33,479
利益剰余金	280,697	284,768
親会社の所有者に帰属する持分合計	384,016	381,926
非支配持分	37,419	33,890
資本合計	421,435	415,817
負債及び資本合計	663,530	647,894

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	120,561	132,457
売上原価	75,318	85,725
売上総利益	45,242	46,731
販売費及び一般管理費	29,620	34,857
持分法による投資利益	1,449	1,112
その他の収益	568	460
その他の費用	188	198
営業利益	17,452	13,248
金融収益	799	895
金融費用	271	141
税引前四半期利益	17,979	14,003
法人所得税費用	5,161	5,438
四半期利益	12,818	8,565
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	12,095	7,894
非支配持分	723	671
四半期利益	12,818	8,565
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	116.11	76.02
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	115.47	75.58

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	12,818	8,565
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する資本性金融資産	14,349	△1,335
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△12	△15
純損益に振り替えられることのない項目合計	14,337	△1,351
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する負債性金融資産	△19	4
キャッシュ・フロー・ヘッジ	10	1
在外営業活動体の換算差額	△855	1,972
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△4,325	1,359
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	△5,189	3,338
税引後その他の包括利益	9,148	1,987
四半期包括利益	21,966	10,552
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	21,269	9,959
非支配持分	697	592
四半期包括利益	21,966	10,552

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日 残高	25,122	50,639	△6,660	2,292	△12,057	17	19,879
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△816	9	14,318
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△816	9	14,318
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	0	1	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	362	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	8
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	0	0	360	—	—	8
2020年6月30日 残高	25,122	50,640	△6,659	2,653	△12,873	27	34,206

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	合計	
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2020年4月1日 残高	2,143	12,275	246,616	327,994	26,068	354,063
四半期利益	—	—	12,095	12,095	723	12,818
その他の包括利益	△4,337	9,174	—	9,174	△25	9,148
四半期包括利益合計	△4,337	9,174	12,095	21,269	697	21,966
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△1	—	—	—	—
配当金	—	—	△5,729	△5,729	△649	△6,378
株式に基づく報酬取引	—	362	—	362	—	362
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	1	10	△10	—	—	—
その他の増減	—	—	△16	△16	△16	△32
所有者との取引額合計	1	371	△5,756	△5,384	△665	△6,049
2020年6月30日 残高	△2,192	21,820	252,955	343,879	26,100	369,980

日清食品ホールディングス株式会社(2897) 2022年3月期 第1四半期決算短信

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日 残高	25,122	50,636	△6,658	2,653	△9,642	18	42,584
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	2,020	2	△1,302
四半期包括利益合計	—	—	—	—	2,020	2	△1,302
自己株式の取得	—	—	△5,245	—	—	—	—
自己株式の処分	—	14	69	△84	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	256	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△262	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△2,976
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△247	△5,175	171	—	—	△2,976
2021年6月30日 残高	25,122	50,389	△11,833	2,825	△7,622	20	38,305

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			非支配持分	合計	
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金			
2021年4月1日 残高	△1,395	34,217	280,697	37,419	421,435	
四半期利益	—	—	7,894	671	8,565	
その他の包括利益	1,344	2,065	—	△78	1,987	
四半期包括利益合計	1,344	2,065	7,894	592	10,552	
自己株式の取得	—	—	—	—	△5,245	
自己株式の処分	—	△84	—	—	0	
配当金	—	—	△6,771	△3,487	△10,258	
株式に基づく報酬取引	—	256	—	—	256	
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△667	△929	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	0	△2,975	2,975	—	—	
その他の増減	—	—	△26	33	6	
所有者との取引額合計	0	△2,803	△3,822	△4,121	△16,170	
2021年6月30日 残高	△49	33,479	284,768	33,890	415,817	

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日清食品ホールディングス株式会社(以下、当社)は日本に所在する株式会社です。当社の登記されている本社及び主要な事業所の住所は、当社のウェブサイト(<https://www.nissin.com/jp/>)で開示しております。当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社(以下、当社グループ)、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。

当社グループの事業内容及び主要な活動は、注記「セグメント情報」に記載しております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨に関する事項

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」

(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、IAS第34号に準拠して作成しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表は、2021年8月5日に取締役会によって承認されております。

(2) 測定的基础

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、単位を百万円としております。また、百万円未満の端数は切捨てて表示しております。

(重要な会計方針)

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度において適用した会計方針と同一です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当第1四半期連結会計期間より、当社グループにおける事業管理区分の見直しにより、「菓子・飲料」事業に含まれていた「飲料事業」について従来の「低温事業」と合わせて「低温・飲料事業」とし、「菓子事業」については独立した報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」「明星食品」「低温・飲料事業」「菓子事業」「米州地域」「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」「明星食品」「米州地域」「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、(重要な会計方針)における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

日清食品ホールディングス株式会社(2897) 2022年3月期 第1四半期決算短信

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	48,063	9,659	20,053	7,642	17,743	11,512	114,674	5,886	120,561	—	120,561
セグメント間の内部売上収益又は振替高	372	1,088	113	17	2	305	1,899	8,185	10,085	△10,085	—
計	48,435	10,747	20,166	7,660	17,745	11,818	116,574	14,072	130,646	△10,085	120,561
セグメント利益 (営業利益)	8,730	1,610	1,915	979	1,910	1,607	16,752	2,066	18,819	△1,366	17,452
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	799
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	271
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17,979
その他の項目											
減価償却費	3,106	459	617	352	246	497	5,280	854	6,134	9	6,144
持分法による投資損益	—	—	—	22	—	—	22	1,427	1,449	—	1,449
資本的支出	3,280	1,099	402	176	1,143	618	6,720	1,063	7,784	—	7,784

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,366百万円には、セグメント間取引消去等△37百万円、グループ関連費用△1,221百万円、新規事業費用△108百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	46,577	9,411	20,216	17,063	20,221	12,247	125,736	6,720	132,457	—	132,457
セグメント間の内部売上収益又は振替高	318	1,402	148	50	7	292	2,219	8,894	11,114	△11,114	—
計	46,896	10,813	20,365	17,113	20,228	12,539	127,956	15,615	143,571	△11,114	132,457
セグメント利益 (営業利益)	7,012	1,001	1,323	1,069	1,189	1,073	12,671	2,106	14,777	△1,529	13,248
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	895
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	141
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14,003
その他の項目											
減価償却費	3,381	543	603	636	276	572	6,012	869	6,881	10	6,892
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	1,112	1,112	—	1,112
資本的支出	1,319	284	316	2,157	737	1,628	6,443	1,079	7,522	△74	7,447

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,529百万円には、セグメント間取引消去等△36百万円、グループ関連費用△1,338百万円、新規事業費用△154百万円が含まれております。
- 3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。